

印西市 第4次情報化計画 実施結果(総括表)

基本理念：つながる・ひろがる・かがやく「いんざい」

計画年度：平成29年度～令和3年度

基本施策	施策の展開	計画事業数	実施状況 (事業数)※			
			実施済	事業終了	検討中	達成度
1. 安心・安全な生活のために	1 災害時の情報の充実	10	10			100%
	2 子育て支援の充実	10	7		3	70%
	3 医療・福祉情報の充実	8	6	2		75%
2. 充実した生活のために	1 生涯学習環境の充実	7	7			100%
	2 市民との協働	29	27		2	93%
	3 ICTを活用した環境保全	5	5			100%
3. 住民サービス向上のために	1 公開情報の充実	10	8	1	1	80%
	2 収納・支払いの電子化促進	8	8			100%
	3 窓口サービスの充実	16	16			100%
4. みんなが情報化の恩恵を受けるために	1 通信環境の充実	10	10			100%
	2 ICT教育環境の拡充	15	12	3		80%
	3 情報セキュリティ対策の強化	5	5			100%
合計		133	121	6	6	91%

※事業終了・検討中の事業については第四次情報化計画実施結果(抜粋)に掲載

印西市 第4次情報化計画 実施結果(抜粋)

基本理念：つながる・ひろがる・かがやく「いんざい」

計画年度：平成29年度～令和3年度

基本施策	施策の展開	実施結果
1. 安心・安全な生活のために	1 災害時の情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・多言語（英・韓・中国語）表記の指定避難所案内板を11校（10か所）に設置した。 ・J-LISシステム（被災者支援システム）を構築した。 ・災害情報ポータルサイトを構築し、災害時に市民がWebから情報提供できるようになった。
	2 子育て支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・マイナポータルを利用した情報提供ができる体制を整えた。 ・市ホームページでの情報提供の充実について検討を行い適宜掲載を行った。今後もDX推進方針へ引き継ぎ検討を行う。【検討中・13、17市ホームページでの情報提供の充実・19保育園の空き情報提供】
	3 医療・福祉情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・麻しん、風しん、新型コロナウイルスに対し、市のホームページで注意喚起を行った。 ・GIS等を使用した医療機関情報・感染症情報提供を検討したが、県のシステム等の代替手段があることや、地図表示がなじまない情報であることが判明したことなどから、事業を行わないこととした。【事業終了・22、24GIS等を使用した医療機関情報・感染症情報の検討】
2. 充実した生活のために	1 生涯学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財映像記録のDVD化を行った。また、DVDのダイジェスト版動画を製作し、YouTubeで配信した。 ・指定文化財のパンフレットをデジタル化し、インターネットで公開した。 ・図書館所蔵資料をデジタルライブラリーに公開した。
	2 市民との協働	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開GISの公開情報についてハザードマップの追加を行った。また、GIS検討部会を立ち上げ、市民公開可能なマップについて検討した。今後も、DX推進方針へ引き継ぐ。【検討中・38市民公開型GISの公開情報の追加】 ・市民協働投稿システムの導入に向けて打ち合わせを行った。DX推進方針へと引き継ぎ、令和4年度に実施予定。【検討中・40市民からの投稿機能の追加の検討】
	3 ICTを活用した環境保全	<ul style="list-style-type: none"> ・ごみ減量化にかかる映像コンテンツを作成し、公開した。 ・スマートフォンアプリによるごみ収集案内情報の提供を行い、ダウンロード件数が平成29年度時点で3,221であったものが、令和3年度時点で10,365件に増加した
3. 住民サービス向上のために	1 公開情報の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・印西市公式LINEのアカウント取得を行った。今後、防災情報の発信を行う。 ・市のプロモーションサイトを立ち上げ、PR動画を公開した。 ・市民向けの公文書検索システムについて検討したが、市民からの利用要望がなく、他市における導入例も少ないことから導入を見送った。【事業終了・77市民向けの公文書検索システム】 ・バスの位置情報がリアルタイムで把握できるシステムを導入した。市民公開に向けて対応方法を検討中。【検討中・78ふれあいバスの運行情報の提供】
	2 収納・支払いの電子化促進	<ul style="list-style-type: none"> ・口座振替手続きの電子化を行った。 ・手数料のスマートフォンアプリ決済サービスを開始した。 ・寄付（ふるさと納税）のクレジット納付を開始した。

印西市 第4次情報化計画 実施結果(抜粋)

基本理念：つながる・ひろがる・かがやく「いんざい」

計画年度：平成29年度～令和3年度

基本施策	施策の展開	実施結果
	3 窓口サービスの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「電子申請サービス」にて103件、「ぴったりサービス」にて23件の手続きを行えるようにした。今後も、DX推進方針にてオンライン手続きの拡充を進めていく。 ・市民課、中央駅前出張所において多言語翻訳機を導入し、外国人対応の充実を図った。 ・番号呼び出しシステムを導入した。更に、フロアマネージャーを設置し、市民の誘導を円滑に行った。
4. みんなが情報化の恩恵を受けるために	1 通信環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのリニューアルを行った。 ・災害情報等を集約した「印西市防災ポータルサイト」を構築した。 ・自営光ケーブル網（印旛地区）の経路変更等に対応し、安定稼働に努めた。
	2 ICT教育環境の拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・GIGAスクール構想の実現に向けて、児童生徒一人一台の端末を整備し、各教室から無線接続できる環境の整備を行った。また、教職員向け研修を充実させ、のべ170人以上の教職員が受講した。 ・大型掲示装置を129台導入した。 ・教職員の指導案をデータベース化し、共有財産として利用できるようにした。 ・ITボランティアの活動について支援を行っていたが、令和3年度にITボランティアが解散したため、事業を終了した。【事業終了・126、127、128 ITボランティアの支援】
	3 情報セキュリティ対策の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒対象のICTリテラシー講座を行った。 ・市民向けにSNS講座や、情報セキュリティ講座を実施した。

計画期間において、国が大きく情報化・デジタルトランスフォーメーションの推進に活発な動きを開始したため、計画外での取組ではあるが、下記のような取組を実施してきた（一部再掲）

- ・令和元年度に文部科学省から発せられたGIGAスクール構想を実現させるため、児童一人一台の端末及び各教室から無線接続できる環境の整備を行った。
- ・平成29年に開始したマイナポータルからの電子申請（ぴったりサービス）について、23手続きが実施できるよう整備し、市民の利便性を高めた。
- ・平成30年度に同一の住民情報関連システムを利用する県内9自治体で、自治体クラウドグループ「情報処理研究会」の立ち上げを行った（令和3年度末23団体）
- ・重要なセキュリティインシデントを防止するため、平成29年度より千葉県とすべての市町村がインターネットとの接続を一本化し、その通信を監視するセキュリティクラウドの運用を開始した。